


高知市 

社協だより



色鮮やかなタチアオイ



5月～6月。高知市保健福祉センター北側の久万川土手沿いにはタチアオイが満開。事務所からは、日に日に満開になっていく様子を見ることができ、ひとときの癒しになっています。

このタチアオイが毎年きれいな花を咲かせるためには、ボランティアでお世話をされている森下^{かずきお}一喜男さん(82才)の存在が欠かせません。

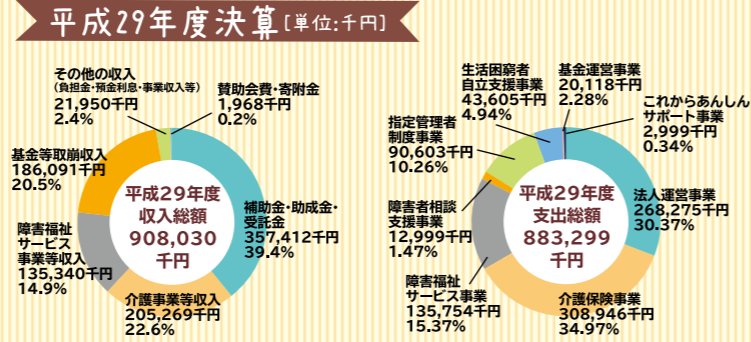
森下さんがタチアオイに込める思いや、ご苦労を語ってくれました。(詳細P.8)



- ②③ 平成29年度事業報告・収支決算
- ④ 市民後見人について
- ⑤ 家計改善、就労準備支援事業・特定相談事業所移転・プラモデル教室
- ⑥ 社協バンド^{プラス}・きずな農園
- ⑦ 心の窓に・地区社連総会
- ⑧ 縁の下の力持ち・寄付お礼等

平成29年度事業報告・収支決算

地域を取り巻く環境が大きく変化し、地域コミュニティの希薄化等の課題が広がりを見せています。こうした中、本協議会では、全ての職員が制度の枠や既成概念にとらわれることなく、平成29年度も住民一人ひとりに誠実に対応するとともに地域住民主体の支え合いの仕組みの構築など、様々なことに取り組みました。



今回は、その中の一部をご紹介します！



1 安定した法人運営と地域から信頼される組織づくり

社協運営事業 地域貢献事業 基金運営事業 社協啓発事業 保健福祉センター等管理事業 指定管理事業

その1 高知市社協、総額約830万円を助成

- 高知市内27地区社会福祉協議会
- 児童養護施設(4カ所)
- 障害のある方が働く事業所(11カ所)
- その他団体(5カ所)などに助成しました。

その2 賛助会員・特別賛助会員

- 賛助会加入者数 748名 (前年比+13名)
- 特別賛助会加入団体数 113団体(前年比▲5団体)

その4 「お金が無い」できらめない福祉実現へ ～プロジェクトチーム立ち上げ～

国際NGO/NPOと連携協定を締結。写真はNGOとの打合せの様子。



その3 社協への寄付金

- 21件 約46万円 (前年比+2件、▲287,019円)

その5 社会福祉法人のチカラを集結！ ～連絡協議会設立に向けて～

多様化する地域課題を解決するため、平成30年8月に賛同する市内の社会福祉法人・施設で構成された「高知市社会福祉法人連絡協議会」の設立に向けて準備を進めています。



2 地域住民が安心して暮らせる支え合いの仕組みづくり

地域福祉活動推進計画事業 ボランティアセンター事業 こうち笑顔マイレージ事業 障害者社会参加促進事業 共同募金(配分)事業 名士チャリティ色紙展示即売会 まごころ銀行

その1 地域福祉の新たな担い手“福祉委員”

「福祉委員制度」は、地域福祉の新たな担い手として平成26年度から導入し、各地区社会福祉協議会の実情に合わせて複数の地区で取り込まれています。昨年度は高知市地区社会福祉協議会連合会の情報交換会で活動を発信することで、新たに6地区55名の福祉委員が誕生するなど導入地区が拡大されています。



平成29年度は初めて福祉委員交流会を開催しました。



地域のサロンやイベント、子ども食堂へ参加するなど、福祉委員の活動が広がっています。



その2 「出前講座」の実施

「出前講座」は、福祉や介護に関心を持てるきっかけづくりや地域の福祉活動に役立てることなどを目的に、平成29年度から新たに取り組みを始まりました。本協議会職員が講師となり、依頼のあった地区に出向いて地域福祉・成年後見・介護・障がい等のテーマごとに講座を実施しています。

平成29年度実績

実施回数 49回
参加者数 1,414名



その3 名士チャリティ色紙展示即売会を開催。過去最高の収益(約280万円)を記録

昭和52年から毎年続いている『名士チャリティ色紙展示即売会』。平成29年度も11月にかかるぽーとで行いました。

ご協力くださる名士の方も年々増え、県外からわざわざこの展示会に足を運んでくださる方も。チャリティの輪が少しずつ広がっているのを感じています。



昨年度ご協力いただいた高知市在住の漫画家、大沢俊太郎先生と。



今年も楽しい展示会になるよう準備中！今年11月9～11日 かるぽーとで開催！

3 地域住民が自立した生活を営むことができるための権利擁護体制の確立

成年後見サポートセンター事業 日常生活自立支援事業 これからあんしんサポート事業 生活困窮者自立支援事業
生活福祉資金貸付事業 一時生活支援事業 高知市障害者相談支援事業 社会福祉金庫貸付事業

これからあんしんサポート事業

高知市成年後見サポートセンターに寄せられる相談や取り組みの中から見えてきた地域課題への対応のために、「これからあんしんサポート事業」を創設しました。お一人暮らしで頼れる親族のいない方が高知市社協と契約することで、認知症などを理由にご自身で判断できなくなった時のことや、お亡くなりになった後のことについてお手伝いをさせていただく事業です。



制度のご案内を各地区で行いました！

2名の方と契約を結びました。

これであんしん！



4 地域住民が住み慣れた地域で安心して暮らせるサービスの実施

訪問介護事業 居宅介護支援事業 通所介護支援事業 基準該生活介護事業 居宅介護等事業 同行援護事業 移動支援事業
生活介護事業 日中一時生活支援事業 就労継続支援B型事業(きずな) 特定相談支援事業 生きがいデイサービス事業 外出支援サービス事業

良質な福祉・介護サービスを担う人材の確保・育成に努め、質の高いサービスの提供を行うとともに、地域活動に貢献できるよう取り組みました。



春野地区での高齢者買い物支援。「買い物できて助かっています」



機能訓練の風景。みんな元気になっています！

市民後見人が誕生しました！～高知市成年後見サポートセンター～

高知市成年後見サポートセンターでは、判断能力が低下した方を支援する「市民後見人」が活動できる体制づくりに取り組んでいます。市民後見人は、親族以外の市民による後見人のことですが、この度、高知家庭裁判所から2名の方が市民後見人として選任され、活動を開始しました。市民感覚を活かしたきめ細やかな後見活動が始まっています。



市民後見人をご紹介します！

成年後見人としての活動は初めてで覚えることが多くあり大変ですが、やりがいのある仕事だと思います。ご本人は困っていることを困っていると言えない状況の方だと思います。そういったご本人のとまどいや困った状況にいち早く気付けるような市民後見人になりたいと考えています。

初めて成年後見人として選ばれて、ご本人に「私が、あなたの後見人です」と自己紹介すると涙を流して喜んでくれました。病状が落ち着いたらお墓参りに行きましょうねと伝え、楽しみにしていますと答えてくれました。

市民後見人は、専門職にはない市民目線・感覚を活かしたきめ細やかな訪問と、ご本人の思いをキャッチしそれに即したお手伝いをすることができます。皆さまのお役に立てるように高知市社協と連携し、新たに市民後見活動を始める方の模範となれるよう努めていきます。



市民後見人
横山 由紀 さん



市民後見人
豊島 正 さん

あなたも市民後見人として活動してみませんか？

第4回市民後見人養成講座の受講生を募集します！

高知市成年後見サポートセンターでは、地域住民同士が支え合う街づくりを目指し、市民後見人の養成を目的に第4回市民後見人養成講座を実施いたします。詳細については高知市社会福祉協議会ホームページに掲載いたします。

- 開催日時 平成30年10月11日(木)・12日(金)・18日(木)・19日(金)・25日(木)・26日(金)・27日(土)の7日間
- 開催場所 かるぼーと(10/11・12・18・19)、高知声と点字の図書館(10/25・26・27)
- 募集対象 市民後見人としての活動を希望し、全講義を受講できる方
※高知市後見人材バンク登録対象者は高知市内在住が要件となります。
- 募集人員 30人程度(応募者多数の場合、調整させていただくことがあります)
- 受講料 3,000円(テキスト代 2,160円、その他資料代等)
- 申込方法 ①お電話②FAXまたは郵送(※申込用紙は、ホームページからダウンロードできます。)
- 申込み先 〒780-0870 高知市本町4丁目2番40号 ニッセイ高知ビル3階
高知市成年後見サポートセンター TEL 088-856-5539 FAX 088-856-5549
URL <http://www.kochi-csw.or.jp/>



高知市生活支援相談センターからのお知らせ

その① 家計改善支援事業が始まりました(平成30年4月開始)

家計改善支援事業は、家計管理がうまくできず借金や滞納を抱え、生活再生に苦しんでいる方と共に、家計表の作成などを通して家計収支の現状を把握し、将来に希望を持って生活を再生できるように家計改善支援員が寄り添い支援を行う取り組みです。家計に不安を抱えている方は、一人で悩まず、まずは下記お問い合わせ先までご相談ください。

- 家計管理の支援
- 滞納(家賃・税金・公共料金等)の解消
- 各種給付制度等の利用に向けた支援
- 債務整理に関する支援(法律専門家と連携)
- 貸付制度の紹介

その② 就労準備支援事業が始まります(平成30年10月開始)

就労準備支援事業は、「働くこと」に悩みを抱え、すぐにはハローワークなどでの就職活動が困難な方が対象です。それぞれの状況に応じた就労準備支援プログラムを作成し、職場見学や就労体験などの就労準備に向けた支援を行います。

こんなことで悩んでいませんか？
一人で悩まず、
まずはご連絡ください！

- コミュニケーションが苦手
- 長期間働いていない
- 就労経験が少ない
- 働きたいけどどうしていいかわからない

お問い合わせ先 高知市生活支援相談センター TEL:088-856-5529 FAX:088-856-5549

『高知市特定相談支援事業所「しゃきょう」』の事務所が移転しました

旧事務所 ニッセイ高知ビル3階
(※高知市障害者相談センター北部はそのまま)

新事務所 南部障害者福祉センター
(高知市南部健康福祉センター1階)
〒780-8015 高知市百石町3丁目1番30号
TEL088-878-9070 FAX088-878-9071

ここでーす♪ ここ、ここ 特定相談支援事業所「しゃきょう」

ご迷惑をおかけしますが、住所・連絡先等変更となっておりますのでよろしくお願いいたします。
新天地にて、新体制のもとで気持ちも新たに運営しております。近くを通りかかった際にはお気軽にお立ち寄りください♪

作る!楽しむ! プラモデル教室 開催のお知らせ

接着剤を使わないプラモデル(車・ガンダム等)を製作する初心者向けの講座です。
親子での参加もOKです。お気軽にお申し込みください。

- 対象 市内在住で、障害のある方
- 日時 8月25日(土) 13:00~16:00
- 会場 障害者福祉センター 2階 大研修室及び創作活動室
- 定員 先着30名
- 受講料 無料
- 材料費 実費(当日、500円~1,500円程度のプラモデルから選択していただきます)
- 申込期間 障害のある方は7月2日(月)~8月10日(金)、その他障害の無い方は定員に空きがある場合のみ7月23日(月)~8月10日(金)まで申し込みを受け付けます。下記まで電話、または直接ご来所ください。
受付時間は8:30~17:30で、土・日曜日、祝日は休み。

お問い合わせ先 障害者福祉センター
〒780-0935 高知市旭町2丁目21番地6 TEL:088-873-7717 FAX:088-873-6420 E-mail: asahi@kochi-csw.or.jp

はじめまして! プラス 『社協バンド+』です!



『社協バンド+』は、「高知市社会福祉協議会の活動などを地域の方に広く知ってもらおう」ことを目的に、平成30年1月に誕生したバンドです。

メンバーは、音楽が好きな社協職員と、歌や楽器を愛好している住民の方で構成されています。5月には、高知県民生委員児童委員大会で演奏させていただく機会をいただき、かるぽー

とにて約1,000人の方に演奏を楽しんでいただきました。

この活動が地域の皆さんの日頃の趣味活動や社会参加の場として、また地域づくりの機会になればと考えています。

本格的な活動はまだまだこれからです。社協バンド+が皆さんのお近くにお邪魔した際には、是非一緒に盛り上がり上げていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします!

高知県民生委員児童委員大会での演奏の風景

「社協バンド+」

この「+」は、地域の住民の方を表しています。



今回一緒に演奏していただいた「プラスメンバー」

職員だけじゃなく、所々いいですね。

知っている曲ばかりで楽しかった。

素敵な演奏でした。

バンドという試みがいいと思う。

演奏を聴いた方の感想



きずな農園の夏野菜! 元気に成長中です!

4月20日、高知市長浜きずな農園にて、3名のボランティアさんと共にナス・ピーマンの苗を植え付けました。この後オクラの種もまき、皆順調に成長してくれています。

昨年もお好評をいただいたきずなの夏野菜は、マルナカ旭店さんの「すきまる産直市」や、上町ピュアリフレビル内「まっことネット細木」さんなどで販売させていただく予定です。

皆様の食卓に有機栽培で育てた美味しい野菜をお届けできるよう、奮闘する毎日です!

きずな農園では、野菜収穫、水やりなどのボランティアさんを募集しています。

詳しくは、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先 **しごとづくり課 就労継続支援B型事業所きずな**

〒780-0935 高知市旭町2丁目21番地6 TEL・FAX:088-873-7790 担当:岩佐

Instagramはじめました!

きずな農園の様子や野菜の販売情報などを発信しています。
アカウント名 @kizuna.noen
URL <https://www.instagram.com/kizuna.noen/>

採れたてのナス・ピーマン・オクラ



じゃがいもは白くてかわいい花を咲かせます。



心の窓に

Vol.8 高知で生まれた断酒会

石塚 直人 新聞記者
美作大学非常勤講師

「断酒会」という自助グループがある。アルコール依存症の患者さんや家族が定期的集まり、体験を語り合うことで立ち直りを目指す。日本で初めて、60年前に高知市で結成されたのが高知県断酒新生会で、これが全日本断酒連盟の母体となった。

断酒新生会は、不治の病とされたアルコール依存症の治療を模索していた下司孝磨・下司病院長と、酒で身を持ち崩した松村春繁・元社会党県連書記長(ともに故人)の出会いに始まる。いくら治しても退院すれば酒を飲んで元の木阿弥に、苦悩した下司院長は、米国で効果を上げていた断酒会に着目し、酒をやめた松村氏と二人で日本独自の活動スタイルを考案、普及させた。

元患者でもある作家・小林哲夫氏の「松村春繁」は、連盟の初代会長となった松村氏が鈍行列車を乗り継いで全国の会員を訪ね、乗り換え駅の待合室ではがきを何

枚も書いた姿を伝える。昭和30年代の列車の座席は狭くて硬い。どれほど大変だったことか。

下司院長については、長男で父の活動を熟知する孝之さん(74)が今春、伝記「断酒会に寄り添って」を出版した。私設のアルコール問題研究所に松村氏を雇い、活動費などに2億円を投じたほか、ライオンズクラブなどの人脈をフルに生かして会をPRした。

2人が世を去った今、断酒会がメディアに載ることは少ない。私自身、80年代から下司院長の取り組みを知りつつ、「あなたも断酒を」と言われると困る、と早合点して取材には行かなかった。18年ぶりに高知に戻り、思い直して断酒会の例会をのぞいたのが昨年6月のこと。酒に溺れた自分の体験を語る参加者の姿に心を揺さぶられ、改めて会と2人について調べ始めた。もっと早くすればよかった、と反省している。

平成30年度 高知市地区社会福祉協議会連合会総会・全体研修会を開催しました

平成30年度高知市地区社会福祉協議会連合会(以下「地区社連」)総会・全体研修会を、4月27日(金)に開催しました。総会では、平成29年度の活動報告と決算報告、平成30年度の事業計画について報告・協議しました。

研修会では、今年度の地区社連のテーマでもある「地域共生社会の実現に向けて」と題して高知県立大学社会福祉学部 田中きよむ教授にご講演いただきました。

近年では、「無縁社会」という言葉がよく聞かれるようになりました。高齢者の孤独死や社会的孤立によるひきこもり、虐待などが社会問題となっている中、身近な地域での「人と人のつながり、心の絆づくり」こそが、これからの地域づくりに求められる基本的な方向性であることを学びました。昨年度に学んだ「新たな縁づくり」にも通じます。写真なども交えながらご紹介いただいた他地区の活動は、具体的にイメージしやすく、大変参考になりました。

アンケートでは多くの方から「理解できた」とのご回答をいただきました。しかし、もう少し時間をかけて学びたいとの意見もあり、今年度は、東西南北の4ブロックの情報交換会で、より具体的な学び・話し合いの場をつくっていきたく考えています。

年齢・世代の違い、障がい・病気の有無や程度、出身や性別などの垣根を越えて、「地域が家族」のような「住んでいて良かった、住み続けたい」と思える地域づくりを目指していきたいと思っております。



縁の下の力持ち！ 森下^{かずきお}一喜男 さん (82才)

高知市保健福祉センター北側にはタチアオイが毎年きれいな花を咲かせています。11年前、この土手は雑草だらけだったそうです。その一角に、近所の方がほんの少し植えたタチアオイを、森下さんがお世話を続け、ここまで見事に成長させたのだそうです。

森下さんは、雑草を引いたり、土をほぐすお世話を11年間続けられています。1年間のうち、3分の2はタチアオイのお世話をされているとか。しかし、近年は体調のこともあり、そのお世話も以前のようにできなくなったそうです。「去年は風が吹いても花が倒れんように紐で固定しちゃった。でも、今年はしんどくてそれもようせんまま…。」

タチアオイが満開を迎えるこの時期、沢山の方が花を見に訪れています。近くを通りかかった人も、思わず写真をパシャリ。森下さんは、「若い人や親子連れが見てくれる機会が少ないのが寂しいねえ。花を見ながら、親子や友達同士で会話を弾ませて欲しい。声をかけてくれたらタチアオイについても説明するさ。」と笑顔でお話ししてくれました。

お天気だったこの日も色鮮やかな赤、白、ピンクの花を見に、沢山の方がカメラ片手に訪れていました。

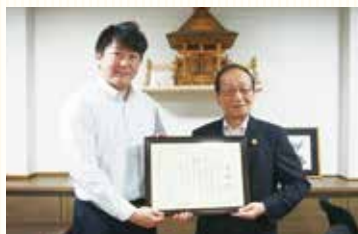


Facebook「ほおっちょけん」のトップ画面にもタチアオイの写真を載せています。ぜひ見てね！



ご寄付をいただきました！

株式会社インフラマネジメント様から、金一封のご寄付をいただきました。同社は建設工事に関する企画・設計・施工・管理・請負及びコンサルティング業務を行っています。今回のご寄付は代表取締役である坂元陽祐様の「社会貢献の一環として、社協さんの活動に役立ててほしい」との思いから実現したものです。いただきましたご寄付は、地域の社会福祉活動推進のために使わせていただきます。ありがとうございました。



和田 南海雄様から、土佐山健康福祉センターたきゆりの事業にご賛同いただき、金一封のご寄付をいただきました。デイサービスで使用するマッサージ機の購入などに使わせていただきます。ありがとうございました。



たくさんのおもいやりありがとうございます

♥ ご寄付のお礼

物品の寄付

- 一般社団法人全国旅行業協会高知県支部 様
お菓子

金一封

- 株式会社インフラマネジメント 様
- 和田 南海雄 様



社協会員募集！

当協議会は「誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会の実現」を目指し、地域の皆様と共に歩んで参ります。当会の活動にご賛同し、新規ご入会やご寄付(内祝・香典返し・遺贈など)をご検討いただける方は、お気軽にご連絡ください。

TEL : 823-9515

個人会員

会費一口あたり 1,000円

法人会員

会費一口あたり 5,000円

※平成30年度よりご入会いただける方は上記の金額となります。

社会福祉活動は、皆様の善意に支えられています。内祝・香典返しなど、ご寄付は高知市社会福祉協議会へお願いします。社協に関して、聞いてみたいことやご意見などございましたら、お気軽にお問い合わせください。

編集・発行 社会福祉法人高知市社会福祉協議会

〒780-0065 高知市塩田町18番10号 高知市保健福祉センター1F
TEL 088-823-9515 / FAX 088-823-8059

Eメール shakyo@kochi-csw.or.jp

HP <http://www.kochi-csw.or.jp/>

Facebook「ほおっちょけん」もぜひご覧ください！

検索 ほおっちょけん